

# 令和3年度6月補正予算案の概要

令和3年度宮崎県一般会計補正予算（第6号）

# 目 次

I	補正予算額	.....	1
II	補正予算案のポイント	.....	2
III	主な事業の概要	.....	3
IV	その他のコロナ対策	.....	7
V	その他補正	.....	8
VI	参考	.....	9

(補正予算全般に関すること)

問合せ先：財政課 財政企画担当  
電話 0985-26-7015

# I 補正予算額

○ 補 正 額 93.8億円

(うち新型コロナウイルス感染症対策 72.8億円)

○ 補 正 後 予 算 額 6,473.0億円

(令和2年度6月補正後比 99.1%)

## < 主な歳入財源 >

国庫支出金 82.2億円

(うち地方創生臨時交付金 50.4億円)

➡ 14頁参照

県 債 7.9億円

(単位:億円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度					小 計	合 計
			当 初	4月補正 (第1,2号)	5月補正 (第3号)	5月補正 (第4,5号)	6月補正案 (第6号)		
コロナ対策予算額	3	911	204	46	24	54	73	401	1,315

## Ⅱ 補正予算案のポイント

### 当初予算

県民の命と健康を守るとともに、本県の新たな成長に向けた対策

予算額:204億円

- ✓ 感染者入院受入病床285床、軽症者用宿泊療養施設300室確保
- ✓ 県産品の応援消費促進、フードビジネス支援
- ✓ PCR検査等一日あたり最大4,500件対応可能
- ✓ デジタル化推進、教育相談体制確保 など

### 5月補正

第4波を踏まえた緊急対策

予算額:54億円

- ✓ 変異株拡大への対応（自宅療養者支援の拡充）
- ✓ ワクチン接種の加速化（市町村の体制強化支援）
- ✓ 水際対策の強化（県外往来者のPCR検査支援）
- ✓ 県内事業者への緊急支援（支援金10万円支給） など

### 6月補正(案)

感染症対策の更なる強化・総合的な経済対策

予算額:73億円

○当初予算の基本的なコロナ対策、5月補正の第4波を踏まえた緊急対策に続き、  
6月補正(案)では、**感染症対策と経済対策**を強化するべく、**73億円**のコロナ対策費を計上

#### 1. 感染症に強い社会づくり

- ✓ 安全・安心な飲食店づくりへの支援 など

13億円

#### 3. 地域経済の再生に向けた対策

- ✓ 県産農畜水産物の学校給食への提供 など

15億円

#### 2. 県民のくらしと雇用を守る対策

- ✓ 雇用を守る対策・離職者採用支援 など

28億円

#### 4. 本県の新たな成長につなげる取組

- ✓ 県内中小企業等の新事業展開支援 など

17億円

# Ⅲ 主な事業の概要

## 1. 感染症に強い社会づくり

飲食の場面における「みやざきモデル」の取組を強化し、安全・安心のお店づくり、みやざきの飲食・外食文化を守るための支援を推進

### 飲食店における安全・安心のための新たな認証制度の導入

○ 事業名 ④新飲食店ガイドライン認証事業

○ 予算額 6億81百万円

○ 事業内容

(1) 認証制度創設事業

- ガイドライン認証制度の創設  
40項目以上の基準について施設の現地確認
- 認証店舗の周知  
認証書の交付、県HP等による紹介



(2) 認証取得支援事業

- 感染防止対策資機材設置支援  
CO<sub>2</sub>濃度測定器、アクリル板、サーキュレーター等の支給
- 換気設備設置支援  
施設改修に対する補助（補助率10/10、上限50万円）
- 専門員による相談窓口設置や講習会の実施等



(参考)  
5月補正

### ○県境往来者PCR検査支援

5億85百万円

仕事・帰省など県外との往来を行う県民等や国文祭・芸文祭に係る来県者の県境をまたいだ移動にあたっての安心を確保するため、帰県・来県時のPCR検査を支援（7月上旬開始予定）

### ○ワクチン接種の加速化

10億91百万円

高齢者へのワクチン接種を早期に完了させるため、医療従事者の確保や県による集団接種の実施など、市町村のワクチン接種に係る実施体制の強化を支援

## 2. 県民のくらしと地域の雇用を守る対策

「コロナ禍」の長期化に伴い、大きな影響が生じている県民生活や地域の公共交通、県内の雇用を守るための取組を推進

### 県内の雇用を守る 事業者への支援

- **事業名** ④緊急雇用維持支援事業
  - **予算額** 5億19百万円
  - **事業内容**  
国の雇用調整助成金の支給決定を受けた事業者に対して、給付金を支給
- 給付額：雇用調整助成金の1/10相当額  
対象期間：同助成対象期間のうち、R3.5~8月分

### 地域の実情に応じた 公共交通維持のための支援

- **事業名** ④地域間幹線バス運行支援事業 
- **予算額** 1億62百万円
- **事業内容** 地域間幹線バスの運行維持支援や路線網の最適化に向けた調査等を実施
- **事業名** ④市町村交通事業者支援事業 
- **予算額** 2億55百万円  
- **事業内容** 市町村が実施する貸切バスやタクシーなど地域公共交通事業者等への支援に対する補助

(参考)  
5月補正

### ④県内事業者緊急支援事業

10億69百万円

県の「緊急事態宣言」(5/9~5/31)によって影響を受けている県内全域の事業者(※)に対し、商工団体等と連携し、1事業者あたり10万円の支援金を支給

※5月の売上げが、前年又は前々年の同月売上比50%以上減少

### 3. 地域経済の再生に向けた対策

「ジモ・ミヤ・ラブ」（地産地消・応援消費）の取組を強化し、  
県民の手で本県の地域経済を支える取組を推進

#### 農畜水産物の 地産地消・応援消費の促進

- **事業名** ㊦県産農畜水産物応援消費推進事業
- **予算額** 4億88百万円  
(補正後6億20百万円)
- **事業内容**
  - (1) 地産地消応援消費対策  
学校給食への食材提供、魚食普及PR資材作成
  - (2) 販売拡大対策  
水産物の運搬料助成  
指定店等による販売PRや企業と連携した商品開発  
都市圏での農畜水産物みやざきフェア等の開催 等



#### 県内における観光・宿泊事業者 を支援するための取組

- **事業名** ㊦観光みやざき緊急誘客促進事業
- **予算額** 5億45百万円
- **事業内容**
  - (1) 県民県内旅行（ジモ・ミヤ・タビ）キャンペーン事業における平日誘導策として地域クーポン発行（国事業期間延長に伴う県単分の上乗せ）
  - (2) 下期に向けた旅行商品造成・プロモーション
  - (3) ゴルフ場における感染症対策強化支援

(参考)  
1月補正

#### みやざき応援消費活性化事業

7億27百万円

県内経済の回復を図るため、県内市町村と連携し、地域の実情に応じた消費喚起策の実施を支援  
(プレミアム付商品券等の発行：綾町4/9～実施、西米良村4/12～実施、多くの市町が6月に実施予定。)

(参考)  
4月補正

#### 県民県内旅行(ジモ・ミヤ・タビ)キャンペーン事業

31億95百万円

感染状況を見極めながら県民の県内旅行等による観光・宿泊事業者等への支援

## 4. 本県の新たな成長につなげる取組

デジタル化・産業基盤の強化により、ポストコロナの地域社会を見据えた、本県の成長を加速

### ものづくり企業等の 成長に向けた支援

- **事業名** ㊦地域中小企業等新事業構築支援事業  
 ㊦ものづくり企業生産設備等改修支援事業  
 ㊦ポストコロナを見据えた  
 ものづくり企業技術力向上促進事業
- **予算額** 4億82百万円
- **事業内容**
  - (1) 社会の変化等に対応するため、新たなビジネスモデル構築等に取り組む中小企業等を支援
  - (2) 生産性向上等のため、生産設備等の改修に取り組む地域中核企業等を支援
  - (3) 技術力向上のため、研究開発体制の構築を行う中小企業等を支援

### 県立高校等のICT教育環境の 更なる充実

- **事業名** ㊦「教育の情報化」緊急対策事業
- **予算額** 2億70百万円
- **事業内容**
  - (1) 教育の情報化に係る人材育成  
 ICT教育推進リーダーを中心とした教員の指導力の育成研修 等
  - (2) 教育の情報化に係る環境整備  
 教員用の端末整備、オンライン専用会議室の設置、  
 県立高校1人1台端末環境の実現に向けた個人端末利用の実証研究



### (参考) 当初予算

〈ポストコロナ〉の地域社会を見据え、本県の新たな成長につなげる取組を推進するため、デジタル化の推進やフードビジネスの推進等の取組として、14億14百万円を措置

## IV その他のコロナ対策（主な事業）

### 救急・周産期・小児医療機関の感染防止対策

3億40百万円

救急・周産期・小児医療を担う医療機関の院内感染防止に係る設備整備等を支援

### 生活困窮者等への支援

16億32百万円

生活福祉資金の特例貸付に係る原資確保や、各種依存症に係る自助グループの活動支援

### 教育旅行の促進(みやざき学び旅)

51百万円

小・中・高等学校等の県内教育旅行について、貸切りバスに係る費用等を支援

### 県民が気軽に自然に親しむための空間づくり

88百万円

みやざき臨海公園や天神山ふれあい竹林の環境整備、県内の自然公園に親しむ取組

### 農林水産業の成長産業化の推進

5億80百万円

地域の食資源を活用した新商品開発や漁業経営基盤強化のための機器等導入に係る支援、畜産物輸出のためのコンソーシアム設立・運営支援など

# V その他補正

## 公共事業

### 補助公共事業（国庫補助決定に伴うもの）

20億72百万円

林道、道路、ダム、港湾、都市公園事業等

## 非公共事業（主な事業）

### ⑨新消防指令業務共同化調査事業

17百万円

本県における消防指令業務の共同化に関する検討に必要な調査を実施

### ⑨新若年がん患者等妊孕性温存支援事業

5百万円

若年がん患者等に対し、妊孕性温存療法に要する費用の一部を助成するとともに、当該患者等が速やかに支援を受けられるための普及啓発等を実施

### ⑩改きらり輝く農業人材確保支援事業

5百万円

農業生産の維持・拡大へ向け、地域の特性に応じた多様な人材を取り込むため、農福連携に関する専門人材の育成や、普及啓発を行うセミナー等を開催

# VI 参考 (コロナ対策の実施状況等)

## 検査・医療提供体制の強化

- ① 接待を伴う飲食店や高齢者施設を対象とした早期探知検査の実施
- ② 変異株検査体制の強化 (衛生環境研究所にウイルスゲノム解析機器を整備)
- ③ 後方支援病院の確保
- ④ 自宅療養者の健康観察体制の確保 **自宅療養者へ食料等支援を開始(5/27~)**



## ワクチン接種の加速化

### 市町村の高齢者向けワクチン接種体制の強化

- ・ 休日に個別接種を実施する医療機関へ協力金を支給
- ・ **医療従事者の確保**  
集団接種に従事する医師・看護師等を公募 → 県がリスト化
- ・ **県による広域集団接種の実施**  
【6月1日時点で実施が決定している地域】 (その他の地域についても調整中)  
小林市、えびの市、高原町【実施日】1回目6/26、27、2回目7/17、18
- ・ 医療従事者の時間外、休日の派遣支援
- ・ 歯科医師、看護師等に対するワクチン接種研修の実施
- ・ **副反応相談対応の24時間化** (6/1~ TEL:0985-26-4609 「知ろうワクチン」)



## 中小企業・小規模事業者等の事業活動継続・成長を支援

これまで(令和2年度)の支援実績 10.6億円

### 〈事業活動の再生に向けた支援〉

- 個室化、テイクアウト商品の開発などコロナ禍への対応による売上の回復やネットワークカメラの導入など生産性向上等の取組を支援(488件)
- リモートワークの導入や工場内のWi-Fi環境整備などICT技術による事業継続や生産性向上等の取組を支援(40件)
- 産学官が連携した感染症対策に係る医療関連機器の開発の取組を支援(7件)
- ガイドラインに基づくものづくり企業の感染症対策や生産活動再開のための機器の整備等の取組を支援(144件)



個室化の取組



開発した簡易陰圧室

### 〈新たな成長へとつなげる支援〉

- コロナを機に変化する消費者ニーズに対応する食品製造事業者を支援(31件)

包餡機



コンピューター  
スケール



金属探知機



## 地産地消や販売拡大等により本県農畜水産物の応援消費を推進

### ＜地産地消応援消費対策（令和2年度の主な取組）＞

#### ○県産食材の学校給食への提供

全国に先駆けて5月から和牛肉の提供を開始。

和牛肉のほか地鶏肉、水産物等を含め、延べ約5,500校、延べ約143万人に提供。



【学校給食の様子】

#### ○地域応援活動への支援

みやざき元気実行委員会による県内高校3年生約1万人への弁当配布など、14市町村、21団体が実施した応援消費活動を支援。

#### ○消費拡大企画の実施

県内スーパー等延べ90店舗で、県産農畜水産物や、県産食材を用いた弁当等の販売促進企画を展開。



### ＜販売拡大対策（令和2年度の主な取組）＞

#### ○宮崎のひなた農畜水産物お届けキャンペーン

全国の消費者や本県ゆかりの企業等による応援消費を促進するため、送料助成やプレゼントキャンペーンを実施。

宮崎牛	約17万パック
完熟マンゴー	約6,800箱
水産物	約6万件



【キャンペーン】

#### ○都市圏等での消費拡大フェアへの支援

東京、大阪、福岡等の本県にゆかりのある飲食店や企業等延べ115店舗で、県産農畜水産物を活用したフェアや、商品開発を実施。



【企業と連携した商品開発】

### ＜R3年度＞

県産農畜水産物の中でも引き続き影響が見込まれる品目に対し、学校給食への食材提供や、販売拡大対策を講じ、影響緩和を図る。

## 県内の都市公園・キャンプ場・自然公園など、県民が3密を避けて 自然に親しむことのできる空間づくり・衛生対策（令和2年度からの取組）

### （都市公園のリニューアルを推進）

#### ＜公園施設のリニューアル＞

##### ○県産木材活用

県産木材を活用し、老朽化した平和台公園の展望台や宮交ボタニックガーデン青島のテラスデッキのリニューアルを実施



【第1展望台（平和台公園）】 【テラスデッキ（宮交ボタニックガーデン青島）】

##### ○3密対策・感染リスク軽減

- ・都市公園内の手洗い場やトイレのタッチレス化を推進
- ・3密回避を促す放送設備を整備するなど、利用者が安心して快適に都市公園を利用できるように、環境整備を推進

### （3密対策としての森林空間の活用）

#### ＜ひなもり台県民ふれあいの森＞

##### ○施設のワーケーション対応化

Wi-Fi環境及び木造キャビンの整備

##### ○衛生環境の向上

水道施設の再整備により、安全な水供給体制を確保

##### ○森林利用の促進

新たな森林環境教育プログラムの整備



#### ＜自然公園等の利用拠点＞

##### ○安全・安心な滞在環境の整備

利用拠点における施設（トイレ、休憩所等）の整備・改修を推進



【イメージ：青島園地トイレ】

# 県立学校における教育の情報化への対応

## 昨年度までの学校ICT環境の整備状況

**プロジェクター等の整備**  
 普通教室 : 100%整備  
 特別教室等 : 各校9台整備

**生徒用端末の増強**  
 生徒3人に1台の環境整備 (高校)

**通信ネットワークの強化**  
 回線の高速大容量化  
 教室に無線LANを整備



- 課題① : ICTを活用した学習活動が部分的・限定的
- 課題② : 教職員の個人間における取組や活用力の差
- 課題③ : 児童生徒用の端末の更なる充実

## ⑧「教育の情報化」緊急対策事業

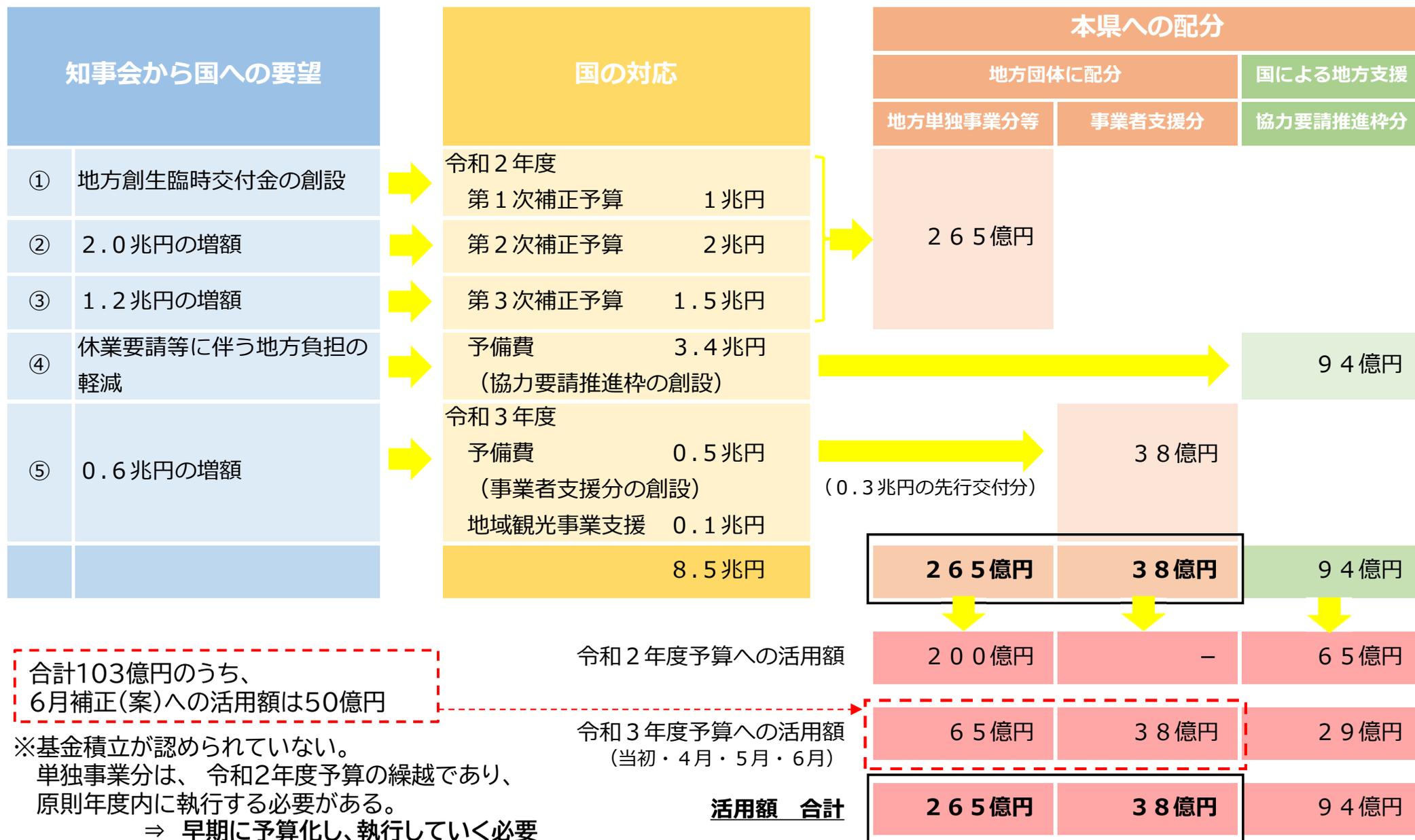
### 教員のICT活用指導力の育成

- ① 教員等の端末整備
- ② ICT教育推進リーダーの配置 (各校1名)
- ③ 校内研修及び教科別研修会の実施

### 学校ICT環境の充実

- ① オンライン専用会議室の整備
- ② 県立高校1人1台端末環境整備の実証研究
- ③ 特別支援学校の児童生徒用端末等の整備

# 新型コロナ対応地方創生臨時交付金の活用状況



# 地方創生臨時交付金(事業者支援分)について

- ✓ 国の予算額:5,000億円(令和3年度予算の予備費)  
(うち、2,000億円は、緊急事態宣言終了後の状況等を踏まえ、経済活動の回復等に対応するため留保)
- ✓ 交付対象:都道府県
- ✓ **本県の交付限度額:38億円**
- ✓ 対象事業
  - ① 感染拡大の影響を受けている事業者に対する**直接的な**支援
  - ② 事業者又は地方公共団体が実施する感染症対策の強化に関する事業

第4波への対応を踏まえ、**早期の配分を要望**

## <本県の活用状況(主な事業)>

### 活用の視点

- 時短要請の影響を受けた関連事業者のほか、感染拡大の影響を受けた**県内事業者を幅広く支援**
- 飲食店向けの新たな認証制度の創設や宿泊施設の支援など、**感染症対策の更なる強化**
- コロナ禍に対応した中小企業等の**経営転換や事業再構築等の支援**

○県内事業者緊急支援事業	10億69百万円
○緊急雇用維持支援事業	5億19百万円
○地域間幹線バス運行支援事業／市町村交通事業者支援事業	3億92百万円
○飲食店ガイドライン認証事業	6億81百万円
○宿泊事業者による感染拡大防止策等支援事業	4億44百万円
○地域中小企業等新事業構築支援事業	3億52百万円

